障害者総合支援法（居宅介護・重度訪問介護）利用料金表

①基本料金表

居宅介護	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1.5時間未満	3時間以上 以後30分毎に		
身体介護	282単位 (303円)	444単位 (476円)	646単位 (693円)	91単位加算 (98円)		
通院介助(身体介護有)	282単位 (303円)	444単位 (476円)	646単位 (693円)	91単位加算 (98円)		
通院介助(身体介護無)	117単位 (126円)	217単位 (233円)	303単位 (325円)	76単位加算 (82円)		
家事援助	30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間15分 未満	1時間15分以上 1時間30分未満	以後15分毎
	117単位 (126円)	168単位 (180円)	217単位 (233円)	263単位 (282円)	303単位 (325円)	39単位加算 (42円)

重度訪問介護 (病院等に入院中の 支援含む)	1時間 未満	1時間以上 1.5時間 未満	1.5時間以上 2時間 未満	2時間以上 2.5時間 未満	2.5時間以上 3時間 未満	3時間以上 3.5時間 未満	3.5時間以上 4時間 未満	以後 30分毎に
基本 単位	186単位 (200円)	277単位 (297円)	369単位 (396円)	461単位 (495円)	553単位 (593円)	644単位 (691円)	736単位 (789円)	85単位加 算(92円)
移動介 護加算	100単位 (108円)	125単位 (134円)	150単位 (161円)	175単位 (188円)	200単位 (215円)	250単位 (268円)		

※入院中の支援の場合：喀痰吸引等支援体制加算は算定しない。90日以降の利用は所定単位数の80%算定する

②加算

＜初回加算＞ 200単位/月 (215円)

☆新規に居宅介護計画を作成した利用者に対して、初回に実施した居宅介護と同月内に、サービス提供責任者が自ら居宅介護を行う場合又は他の居宅介護員等が居宅介護を行う際に同行訪問した場合に算定します。

＜早朝・夜間加算＞

☆基本料金に対して、早朝（午前6時～午後8時）、夜間（午後6時から午後10時）は25%加算、深夜（午後10時から午前6時）は50%加算となります。

＜緊急時訪問介護加算＞ 100単位/回 (108円) 月2回まで

☆利用者やその家族等からの要請を受けて、サービス提供責任者が居宅介護計画の変更等を行い、居宅介護従事者が居宅介護のない居宅介護を緊急に行った場合に1月に2回を限度として加算します。

＜同一建物等の利用者等に提供した場合の減算＞

☆居宅介護事業所と同一敷地内又は隣接する敷地内に所在する建物に居住する者にサービスを提供する場合、上記以外の範囲に所在する建物に居住する者（当該建物に居住する利用者の人数が1月あたり20人以上の場合）にサービスを提供する場合は所定単位数の10%減算する。

☆居宅介護事業所と同一敷地内又は隣接する敷地内に所在する建物に居住する者（当該建物に居住する利用者の人

数が1月あたり50人以上の場合)にサービスを提供する場合は所定単位数の15%減算する

<福祉専門職員等連携加算(居宅介護のみ)> 564単位/回 (605円)

☆利用者に対して、指定居宅介護事業所等のサービス提供責任者が、サービス事業者等、社会福祉士等に同行して利用者の居宅を訪問し、利用者の心身の状況等の評価を該当社会福祉士等と共同で行い、かつ、居宅介護計画を作成した場合であって、当該社会福祉士等と連携し、当該居宅介護計画に基づいたときに評価される加算です。初回の指定居宅介護等が行われた日から起算して90日の間3回を限度として算定します。

<特定事業所加算(居宅介護のみ)>

- ・特定事業所加算(Ⅱ) 基本単位数に10%加算
厚生労働大臣が定める、体制要件・人材要件に適合した場合に算定

<福祉・介護職員処遇改善加算>

福祉・介護職員処遇改善加算Ⅰ

(居宅介護) 算定した単位数の1000分の417に相当する単位数

(重度訪問介護) 算定した単位数の1000分の343に相当する単位数

<喀痰吸引等支援体制加算> 100単位/回 (108円)

<利用者負担上限管理加算(居宅介護のみ)> 150単位/回 月1回程度 (161円)

<2人のホームヘルパーにより訪問を行った場合>

1人のヘルパーによる介護が困難と認められる場合等で、利用者の同意のもと2人のヘルパーでサービスを提供した場合は、2倍の利用者負担額をいただきます。

<障害者虐待防止未実施>

算定した単位数の1000分の10に相当する単位数を減算

次の措置を講じていない場合減算

- ・虐待防止委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底を図ること
- ・従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的を実施すること
- ・上記措置を適切に実施するための担当者を置くこと

<身体拘束廃止未実施減算>

算定した単位数の1000分の10に相当する単位数を減算次の基準のいずれかを満たしていない場合減算

- ・やむを得ず身体拘束等を行う場合、その様態及び時間、利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由その他必要な事項を記録すること
- ・身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底を図ること
- ・身体拘束等の適正化のための指針を整備すること。
- ・従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的を実施すること

<業務継続計画未策定減算>

算定した単位数の1000分の10に相当する単位数を減算

以下の基準に適合していない場合、所定単位数を減算

- ・感染症や非常災害の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画(業務継続計画)を策定すること
- ・当該業務継続計画に従い必要な措置を講ずること

<情報公表未報告減算>

算定した単位数の1000分の50に相当する単位数を減算

障害者総合支援法第76条の3の規定に基づく情報公表に係る報告がされていない場合に、所定単位数を減算

<利用者負担額の上限等について>

介護給付費対象のサービス（ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイ）利用者負担額は、市町村が上限を定めています。そのため、これらのサービスのご利用状況により、当事業所への月々の利用者負担額は変わることがあります。本事業者が代理受領を行った介護給付費額は、利用者へ通知致します。

利用者負担額の算出方法

① ②の計算による1ヶ月のサービス合計単位数×10.72＝〇〇円（1円未満切り捨て）

1割の場合：〇〇円－（〇〇円×0.9（1円未満切り捨て））＝〇〇円（利用者負担額）

2割の場合：〇〇円－（〇〇円×0.8（1円未満切り捨て））＝〇〇円（利用者負担額）

3割の場合：〇〇円－（〇〇円×0.7（1円未満切り捨て））＝〇〇円（利用者負担額）

※10.72円は、藤沢市（4級地）の地域単価

<キャンセル料について> 1,000円/回

利用予定日の前日17:00までに連絡がなく、当日になって利用の中止の連絡をされた場合、キャンセル料として1,000円/回をお支払いいただきます。ただし利用者の容態が急変などで緊急やむ得ない事情がある場合には、その限りではありません。